

令和6年12月定例会 一般質問 小西高吉議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。)

「中学校部活動の地域移行について」

○小西高吉 ただいま議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。

今回は、大項目として3点ということで、1つ目の質問といたしまして、中学校部活動の地域移行についてということで、何回もさせていただいてるわけなんですけど、前回は申しましたように、奈良県知事が令和8年度から休日における教職員の方の部活動を廃止だということで表明されたということで、正直もうあと約1年、できたら来年中、令和7年中にはもうきれいな計画を立てて、スタートできる状態にもっていったかなければならないというようにも思います。

その中で、1つ目として今後の計画です。中学校部活動の地域移行の計画はできたのか。前回は聞かせていただいて、まだだということもありました。ほかの市町村では、もうできているところもある。奈良県においても、河合町のことをご紹介もさせていただいたんですが、いろんなところの自治体の計画等も研究もしていただいたと思いますが、もしまだでしたら、いつ頃に完成するのか。そして、何を基準に、何を参考に作成されるのかを1回目の質問とさせていただきます。

壇上での質問は、以上とさせていただきます。答弁よろしく願いいたします。

○まなび推進局長 失礼いたします。スケジュールや概要につきましては、作成をいたしております。市立中学校の生徒数の予測や各中学校の状況、それから令和6年6月に行った児童・生徒や保護者、教職員アンケート、またこれまでに行ってきた実証事業、他市町村の事例等を基に考えているところでございます。

○小西高吉 結局、まだできてないという認識になるんですかね、計画からいくとっていう認識でいいんですか。再度お願いできますか。

○まなび推進局長 令和8年度の実施に向けて、まず令和7年度に拠点校方式で実施するというような形では決まってはございます。まだ、幾つか課題もございまして、計画としては出来上がってるんですけども、詳細までは今お伝えできるような状態ではないということです。

○小西高吉 微妙な言い方なんで、できると言えばできてるけど、ちゃんとしたものでもないのかなという認識になってくるんですが。

ただ、最近この部活動問題で間違った情報をよく聞かせていただきます。それは、何かというと、部活動がなくなるというような情報が流れている。これは、決して正しい情報で

はないですよね、誤っておりますよね。部活動がなくなるわけではないということで、教育委員会としてもしっかり努力もしていただいて、説明じゃないですけど、説明会は行っていないということは聞かせていただいて、文書なり、ホームページ上でお知らせをしていただいたということも分かっているんですが、ただ僕としても説明会をしっかり開いていただくほうがいいんじゃないのかなと思うんですが、それについての予定ですよね。

それと、奈良県から中学校部活動の地域クラブ活動への移行の手引きということで、令和6年3月にこれ出されていると。もちろんこれを見た中で、これに基づいても進めていただいているとは思いますが、ここにも**生徒、保護者に対して十分な説明を行い、理解を得る必要があります**ということもしっかり明記されております。そこからいくと、結局間違っただけというところもあるんですが、しっかりと**説明会を開くべきだ**というように**思うんですが、いかがですか。** 予定があれば、いつ頃かというのをお教えいただけますか。

○まなび推進局長 失礼いたします。令和6年6月に行いましたアンケートの際に説明文書を配布はいたしておりますが、来年度以降の見通しにつきまして、今月中旬以降にまずは学校を通じて案内を配布いたしたいと思います。また、市ホームページでもお知らせする予定でございます。

今おっしゃっていただいている説明会につきましては、先ほどお持ちのガイドラインといえますか、には必ず説明会をするというふうなことも書いてございますので、また今後必要に応じて考えてまいりたいと思います。

○小西高吉 必要に応じて考えていく、するという認識でいいんですか。微妙な表現の仕方をしていただくんで、どう捉えていいのかがちょっと分かりにくいんですけど、この手引に載ってるんで、やるという認識でいいんですか。そこをはっきり答弁いただいたほうがいいと思うんですが。

○まなび推進局長 方法につきましては、じっくりと十分考えてまいりたいと思います。

○小西高吉 するという事でいいんですよね。方法って言われると、説明会なんで、方法ってほかに何かあるのかなと思ってしまうんで、そういう認識でいいんですか。

部長、いいんですか。教育長、どうなんですか。

○教育部長 全対象者を一堂に会してというような方法は難しいというふうに考えておりますけども、**分割しながら、これは開催していく必要があると認識いたしております。**

以上です。

○小西高吉 ぜひまた時期も分かればお教えいただけたらと思うんですが、相当これ変更というか、本当に分かりにくい制度ですよね、これ。難しくされたというか、何か相当分かりにくいと思いますよ、これ分かんないのは。ほんまだ単に部活がなくなる、部活動がなくなるように捉える部分も多いと思うんですよ。休日の部活動はされないわけですよね、廃止するって言われてるんですね、教職員さんによっても。ほんなら、教職員さんがやられない、イコール土日はしないんだと。基本的に土日に試合があるという、大体そうですね。そのときできないんやったら、もう部活やる意味がないとかというようになってきたら、もう部

活はなくなんねやという、そうなんでもおかしくないと思うんで、しっかり説明の機会を早期に持っていただいたほうがいいと思いますんで、よろしくお願いします。

次に、受皿団体の確保ということで、ただ現在の部活の顧問の先生方ですよね、この協力は絶対必要だと私自身は思うんですが、教育委員会としていかがですか。

○まなび推進局長 失礼いたします。兼職兼業という形で、顧問としてではなく、地域指導者の立場でも休日でも指導を希望される教員には協力していただきたいと考えております。

○小西高吉 協力してもらうためには兼職兼業、もちろんそれは認められる制度になりましたんで、ただその根本の受皿となっていていただく運営団体が絶対必要になると思うんですけど、教育委員会事務局として、本当にこの運営団体として教育委員会ができるのかどうかというのと、それに加えて、絶対なかなか難しいと私自身は思うんで、外部に対しての業務委託を考えておられるのかどうか、その点、聞かせていただけますか。

○まなび推進局長 令和7年度に運営に関する業務の整理も含めて実証を行うことを予定してございます。各種手続やスキームの構築をしっかりと行った上で、運営の外部委託の有無も含めて、香芝市にとって最善の方法を選択したいと考えております。

○小西高吉 あまり時間ないんで、考える考えると言ってたら間に合わないですよ。

ちなみに兼職兼業ではどれぐらいの指導時間を考えておられるのか、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 練習でありましたら、活動時間3時間と、その後の準備や片づけも含めて合計4時間、大会等の場合につきましては8時間程度となることがあると想定しております。

○小西高吉 あと、受皿団体組織との関係づくりに向けて、市としてはどのように考えておられるのか、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 指導者の報酬やスケジュールの調整、また所属部員の把握等を委託する場合、香芝市の方針や状況をよく理解していただく必要があることから、丁寧な説明が必要とは考えてございます。

○小西高吉 受皿の民間事業者の支援、育成、特に施設面、運営面、財政面などは考えておられるのか。考えておられるのであれば、具体的にお教えいただけますか。

○まなび推進局長 申し訳ございません。令和8年度からの地域移行実施に向け、様々な角度から検討してるところでございます。香芝市におけるスポーツ、文化芸術活動の一層の振興を目指し、必要な取組をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

○小西高吉 しっかり進めてください。

次に、この運営団体が市内にすぐに出でこないのも、指導者がすぐに見つからないのも、今までの生涯学習計画や市の方向性が間違ってたんじゃないかと、そのあかしになってしまふんじゃないかと。その点について、市としてのお考え、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 第3次香芝市生涯学習推進基本計画では、学校と多様な主体の連携・協

働の推進に関する施策についての記載はございますけども、中学校部活動の地域移行を観点にした施策の記載はございませんので、そのような評価をいただくこともやむを得ないとは考えてございます。しかしながら、現在の最大の課題は、令和8年度に地域移行された部活動に生徒の皆さんが安心して入っていただける環境をつくることだとは認識はいたしております。

○小西高吉 令和8年度に向けてしっかり動いていただいているというのは十分分かっているんですけど、私自身、令和2年からこれ問題提起させていただいて、当初は令和5年からという、スタートを切るような状況から始まっているんですよね、これ。それが延びて、今令和8年度ってなってますけど、そこで現状把握と分析をお教えいただきたいんですが、必要指導者数や運営経費の積算などの具体的にお教えいただけますか。

○まなび推進局長 概算ではございますけれども、土日の指導者等の登録者としてですが、100名近くは必要と考えております。運営経費としましては、指導者への報酬、保険料、交通費、備品代、事務費等を想定していますが、地域クラブ活動に参加する生徒数等を推測し、今後精査していきます。

○小西高吉 指導者数は約100名の指導者の方が必要だと。100名って相当ですよね、これ。積算のほうはまだこれからということですよ、しっかりお願いしたいと思いますが。

次に、運営経費について、教員特殊業務手当って今出てるんですかね。そういうのを充てるなど、財源を回すことを考えるんですが、現在ある教員特殊業務手当を全て回したらどのぐらいの財源が必要と考えられるのか、その点、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 失礼いたします。教員特殊業務手当につきましては、奈良県の予算でございまして、市としては回答はいたしかねます。

○小西高吉 県の職員さんということで、県からということですね。そこは了解いたしました。

次に、活動場所・運営の考え方についてお伺いしたいんですが、学校体育施設の有効活用、管理団体を含めた開故事業ルールの見直しは考えておられるのかどうか。もし見直しを考えているのであれば具体的にお教えいただけますか。

○まなび推進局長 特に見直しをする予定はございません。

○小西高吉 今後、見直しも必要になってくるんじゃないかなと思うんですが、現在小学校においては、他市町村でも行われている調整会議等を香芝市では一切そういうことを行われてないんですが、ただ一部団体のみに優先的に利用しているというような認識もございまして。公平公正に貸出しをするのは当たり前だと考えるんですが、現在の小学校の貸出しについては、公平公正に運営を行われていると、そういう認識をされていますか。

○まなび推進局長 現在、使用枠を調整する会議等は行ってはございません。利用団体につきましては、これまでの実績を考慮して、継続利用をしていただいている状況でございまして。

○小西高吉 ぜひそこら辺ももう一度検討いただいて、いろんな声も取り入れるような状

況も必要だと思うんですよね。教育委員会だけでは大変しんどいと思いますんで、そういう調整会議的なものも考えていかれたらどうかなと思うんですが。

今後、子供たちのスポーツ、文化活動の場を確保するためにも、持続可能な運営は絶対必要になってきます。持続可能な部活動運営をどの程度考えておられるのか、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 部活動につきましては、平日はこれまでと変わらず学校の活動として行います。拠点校方式の拡大等により、生徒の選択肢の増加、一度に必要となる教員数の節減を見込んでございます。それにより、将来生徒数が減少した場合でも活動を継続できるようにしたいと考えております。

○小西高吉 ぜひ、いろいろ検討材料はまだまだありますよ、これ。しっかりお願いしたいと思うんですが。

次に、受益者負担ですね。これも割と大きな問題というか、課題だと思うんですが、この考えについて、運営経費の捻出は受益者負担でということと考えておられるのか。考えておられるのであれば、幾らぐらいの**受益者負担を考えておられるのか、お教えいただけますか。**

○まなび推進局長 クラブのチーム数や参加生徒数、必要な指導者数等、今現在不確定要素が多いため、明確な金額はお答えできる状態にはございません。可能な限り低廉、安くなるように必要経費等を精査してるところでございます。

○小西高吉 前回は私は申し上げてるんですけど、ぜひ負担のないようにしていただきたいのが正直なところですね。

そこで、保護者からの負担を軽減するためにも幾つかの方法があると思うんですが、市が部活動応援助成金を出している行政も実際あるんですよね。スポンサーを募り、費用に充てるといった、実際にしている地域もあります。保護者負担が増えれば増えるだけ子供たちの機会を喪失する、そういうふうにつながっていくという考えになると思うんですが、初めて保護者負担にするべき、いろんなことをやって初めて、もう保護者に頼るしかないというところで保護者負担というふうになると思うんですが、市としてどのように、具体的にお考えですか。

○まなび推進局長 まず、拠点校方式の部活動と同様、複数校をまとめて実施することにより、必要な指導者数や施設数を削減し、経費の節約をしたいと考えております。また、**保護者負担をできる限り少なくするため、国や県の動向を注視し、また市からの補助についても検討する方針でございます。**

○小西高吉 受益者負担について、受皿団体、指導者の確保、場所の問題等、早期に改善しなければいけないというのは絶対条件なんですけど、特に今までほぼ無料ですよ、中学校の部活動って。多分出してもほんまに年間で何千円とかかなと思うんですが、もちろん部活動によって違うんですけど、ただお金が要るとなると、もうやめとこうという状況に、親に負担かけたくないという子供さんも出てくるだろうと。そんなようにも思うんですけど、市長

は予算編成権、実際予算ですよ、握っておられますんで、スポーツ、文化を子供たちがやりやすい環境のために補助金もしくは助成金、そういうことをお考えになられてるのか、考えていこうとされるのか、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 失礼いたします。香芝市の子供たちがそれぞれ興味のあるスポーツや文化芸術活動に親しむことができるように、市としてもどのような方法が効果的であるかを研究いたしてまいります。

○市長 予算の編成についてのお尋ねでございますが、まだ部活動の地域移行について、教育委員会のほうでなかなか概算も出ていないようでございますので、そういった段階で、市としてどれだけのことができるのかということを検討していきたいというふうに思います。

以上でございます。

○小西高吉 前向きに考えていただけるだろうということは思ってるんですが、ぜひお願いしたいと思います。

それでは次に、これも以前から何回も申し上げてるんですが、部活動コーディネーターの配置です。部活動コーディネーターの主な仕事は、学校と地域の間に立って、土日など休日の部活動を指導できる人材の確保や運営団体の確保など、地域移行を実現するための方策の検討や課題解決に向けた取組を支援することが役割です。

現在、香芝市の部活動の地域移行を中心的に進められているのは、香芝市教育委員会事務局ですが、部活動を渡す教育委員会だけの考えで、受入れをする団体との考えのそごが生じる可能性が大きいと思うんですが、そこで部活動コーディネーターを入れて進めていくことが重要だと、そのように考えられないでしょうか。以前から申し上げてますが、今日初めてこのことを言うんじゃないんですが、その点いかがですか。

○まなび推進局長 失礼いたします。部活動コーディネーター、要はコーディネートする役割の人材というのは必要かとは理解いたしております。令和7年度につきましては、まず教育委員会事務局がその役割、学校や関係団体との連絡調整を行うということで考えております。

○小西高吉 後々また聞いていくんで、後に言いますが、令和2年12月議会の一般質問、ちょうど4年前でこの問題を取り上げさせていただいているんですが、この進め方、今まで教育委員会が進めていただいているんですけど、令和8年に本当に間に合うのかな。前回も言うてるし、その前も言うてるんですけど、正直心配なんですよ。その犠牲になるのは誰っていったら子供さんになってくるんですけど、渡す側ですよ、教育委員会、学校、そして受入れ側は団体ですよ、とが一緒になって進めないといけないと、正直ほんまに思っているんですけど、その点いかがですか。お考え、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 地域移行に関わる様々な課題についてご意見を伺う場として、地域でクラブ活動推進会議というのがございます。そちらには、PTAの代表者や学校関係者等と共に、地域スポーツ関係団体等の代表者も参加していただいております。そ

らでいただいたご意見も踏まえながら今後も進めてまいりたいと考えております。

○小西高吉 受入れ側の方に部活動コーディネーターとなっていて、行政だけが中心となって考えるより、先ほどそういう協議会、委員会、協議会でしたっけ、ありますけど、行政と部活動コーディネーターが一緒になって進めていくことがほんまに大切だと思っ
ているんです。部活動コーディネーターを置くことによって、よい事例も全国ではたくさんあ
ります。

香芝市がなぜいろんなことに市民や市内の団体と一緒に行政課題を解決に向けて
進めていけないのか、本当に不思議でならないんですが、地域移行が進まない場合、今まで
議会でお伝えした、先ほども言ったように子供たちに本当に迷惑がかかってしまうんです
けど、その点の認識、いかがでしょうかね。熊本市とかで見ると、部活動コーディネ
ーター、総括コーディネーターというのもつくっておられて、説明会のときにもコーディネ
ーターと一緒に説明、保護者に対して、子供さんらに対しても実際されているというようなこ
とも書いているんですけど、いかがですか、その点の認識は。

○まなび推進局長 先ほど申しあげました地域クラブ活動推進会議なんですが、市民や市
内の団体も一緒に議論を進めているところでございます。子供たちが将来にわたってスポー
ツや文化活動、芸術活動に親しむことができるよう、地域移行を令和8年度には安心して実
施できるように、鋭意努力してまいるということでございます。

○小西高吉 これ下市町の例で見ますと、ここはコーディネーターを置いておられるん
ですよ、配置されてる。こんなんしっかり見ていただいて、もちろん見ていただいているん
でしょうね、いろんな事例も。これ生駒市とか大和郡山市とか、これ事例で出てるんですよ、
載ってるんですよ、先ほど移行の手引きっていうのに、県が出している。ここに香芝市が
載ってないのも私としてはショックなんですけどね、これ早くから言ってるのに。実証実験
もされてる。もちろん生駒市が早かったんですよ、これやられたんが。今やったら、卓球、
バスケット、合唱ですかね、香芝市で言うと。せやから、それがここに載ってこないのもなぜな
のかなと思ってしまうんだけど、多分ここに書いておられることがほとんどっていうか、で
きてないところが多いんでしょうかね。受益者負担ありっていうのは下市町ですけど、郡山市
は受益者負担なしとか、これは今の状態を指しておられるのか、令和8年度からを指してお
られるのか、ちょっと分かりにくいんですけど、こんなんとかもしっかり見ていただい
てますよね。部長も見ていただいていますか。

○教育部長 他市の状況については概要は承知しておりますけど、各個別の市町村の取組
の内容までは承知いたしておりません。

以上です。

○小西高吉 前回も言って、教育長もそのときに多分答弁で、ほかの事例というか、自治体
もしっかり研究もしながら見ていくということもおっしゃっていただいていたんで、しっか
りその点はやっていただいているというように認識しておきますが、正直ここに載ってこ
ないのが私としてはショックやなと。生駒、生駒は当然やと思ったんですけど、そこに次に郡

山が出てきて、下市町が出てると。香芝市が出てこない、事例としてね。出てこないは、ちょっとショックです。それだけ言っときます。

部活動については以上で結構ですが、ぜひ間に合うように、間に合うようにというか、間に合わないといけないんですよ。

これちなみに間に合わなかった、ほかの自治体でそういう、市長、そんな意見はないんですか。奈良県内で、首長の中でね。部活動の地域移行について、そういう話ってないんですか。教育委員会の中ではあるんですか。教育長、お願いします。

○教育長 失礼いたします。部活動につきましては、令和8年度に必ずやります。ほかの市よりも少し早めに、令和7年度の後半ぐらいからできたらということを考えております。

ただ、金銭面的なこと、子供の負担ということも踏まえて、できるだけ安価な体制を整えられるようにやっております。

それから、指導者につきましても、うちの指導主任のほうが各学校の先生方とも十分面談もし、第1回目の面談は終わりました。ほんで、また第2回目の面談をしながら指導者の確保についても十分整えられるように頑張っております。

以上でございます。

○小西高吉 ほかの自治体、ほか、市外、香芝外でこれについての話合いつてあるんですか、ないんですか、部活動移行の。これ無理やでとか、そんな話とかはないんですか。

○教育長 都市教育長会議では、話題として出ております。

ただ、今言われましたように、生駒市、郡山市については、そういう方向で進んでおりますけども、香芝市も同じく今3つの部ですか、活動しております。ただ、そういうところに載ってなかったのはどういうことかということは、私は理解できておりません。

はい、以上でございます。

○小西高吉 ほかの自治体も、もちろん令和8年って知事がおっしゃってるんで、させないと、教職員には休日はさせないと部活動を。おっしゃってるんで、みんなそれに動いてるんだろうとは思ってるんですけど、みんなほかのともちゃんとできてんのかなっていうのは、正直、別にほかのことを心配する必要はないんですけど、そんなことをふと思ったんで、そういう話題があるのかなと思って1点聞かせていただいたんですが、皆さん、令和8年度に向けて必死で動いていただいているということで、香芝市も動いていただいているというように認識しておきます。

「地域活性化と観光政策について」

○小西高吉 次、大項目2として、地域活性化と観光政策についてということで、交流人口増の考えについて伺いたいんですが、市長が目指す地域活性化の政策についての質問とさせていただくんですが、人口減少、少子・高齢化が進む中、交流人口、関係人口の拡大は、地域の活力の維持、発展に不可欠なことになっております。今後、人口減少、少子・高

齢化が見込まれる中、国内の観光需要を喚起するとともに、急速に成長するアジアをはじめとする世界の観光需要を取り込むことにより、地域経済の活性化、雇用の機会の増大などに つなげていくことが重要だと思います。

観光は、今後とも成長戦略の柱、地域活性化の切り札となります。2023年3月には観光立国推進基本計画が閣議決定され、持続可能な観光、消費額拡大、地方誘客促進を3つのキーワードとして2023年度から25年度の新たな計画が取りまとめられました。2025年には大阪で、万博ですよね、大阪・関西万博の開催が予定されております。これを追い風としてインバウンドをさらに拡大させ、日本経済底上げの重要な役割を果たすことが期待されている中で、今年度は8兆円の消費額が予想されております。そのうち0.1%、0.01%でも香芝市内で消費していただける仕組みづくりを構築していただけるかどうかで今後の香芝市が大きく変わると言っても過言ではないと考えます。

これから香芝市はどのように観光や交流人口、関係人口を増やしていくのか。香芝市を訪れた方々にどのように消費、お金使っていただくのか、そういう仕組みづくりをどのように考えておられるのか。観光資源がどっちかという乏しい香芝市において、交流人口増をしようとして目指されるのかどうか、お教えいただけますか。

○市長 本市において交流人口増を目指すのかというご質問でございますが、ここに言う交流人口とは、本市に居住されていないものの、観光やビジネスなどの目的で本市を訪れる方のことを言うものと承知をしております。交流人口を増加させることは、本市を訪れた方が市内で消費することによる経済効果や交流を通じた地域文化への理解の深まりなどを通して、本市の魅力やブランドイメージの向上につながるものと考えてございます。

令和6年6月定例市議会でも申し上げましたとおり、主に周辺地域からの流入による人口の増加を図り、特に子育て世代を中心に選ばれるまちとして発展させていくためにも、交流人口の増加に資する取組については、本市において重要な施策の一つであると考えております。

以上でございます。

○小西高吉 そうですね。市長は、香芝市の人口も増やす。そこへ交流人口も増えるということになると、プラスプラスで、そうなることが目標として動いていただきたいというものあるんですけど、ちなみに交流人口、関係人口を増やすためにどんな分野でこう増やしていこうというような、そういうお考えって具体的にありますか。

○企画部長 交流人口、関係人口を増やすためのどの分野で増やしていこうかと考えているかというところでございますが、これらの取組といたしましては、これまでも二上山登山道やどんづる峯の遊歩道といった観光地の整備を始めまして、市内の観光案内板及び解説板設置など、観光資源の魅力向上を継続的に行うとともに、本市が有しています歴史文化財のさらなる発信のため、令和5年度には国の交付金を活用いたしまして、大幅なDX化による二上山博物館のリニューアルを実施いたしました。市外からも多くの方にお越しにいたる状況でございます。

また、議員にもご協力いただいてきましたスポーツイベントでございましたり、香芝ふれあいフェスタ、冬彩といった市民が主体となって開催されているイベントなども開催されております。しかしながら、本市には宿泊する場所もございませんので、訪れた方については、王寺町などの近隣の市町の施設を利用されております。このような点につきまして、本市が交流人口の増加に資するための取組への弱さがあると考えております。

スポーツ公園や総合公園、ホールをはじめといたしました複合施設の整備を急ぐとともに、中・長期的にはダイヤモンドトレイルの起点のまちとした観光振興も目指していききたいと考えております。

主に鉄道駅周辺におけます建築物の高さ制限の緩和もしていく方針でございますので、文化やスポーツ振興、観光施策だけでなく、都市計画の見直しも含めまして、あらゆる方向からの施策を着実に進め、今後も様々な分野において、市民だけでなく、訪れた方が本市の魅力に触れることができる機会を創出してまいりたいと考えております。

○小西高吉 いろいろ考えていただいているということで認識しておきますが。

次に、観光施策の考えについてお伺いしたいんですが、以前の議会でもお伝えさせていただいたんですが、観光庁の資料が令和6年10月10日に更新されたんですが、ほとんど前回ご紹介したときと内容的にはそんな変わってないんですけども、そこに定住人口、これも前回ご紹介もさせていただいているんですが、定住人口1人当たり年間消費額は135万円となっております。社人研が出されたデータを見ると、2050年の香芝市の人口予想、社人研ですけども、予想は7万976人、今より約8,000人が減少するというような予想をされているんですが、これ単純に観光庁が出された定住人口1人当たり年間消費額135万円に減少する8,000人を掛けると、年間108億円の年間消費額が減ると。これは、数字上ですけどね、実際にどうや言われても分からないですけど。これが観光庁のほうから出されてるんですが、この減った分を国の政策では観光や交流人口増加によって経済効果で補おうと考えておられます。

香芝市では、そのあたり具体的にどのように考えておられるのか。これも前回も、前のときも言ってるんですけど、どのようにお考えなのか、お教えいただけますか。

○企画部長 令和6年6月香芝市定例会におけます市長の所信表明にもございましたとおり、国家全体で見たときには人口減少期ではございますが、本市としましては、主に周辺地域からの流入による人口の増加を図り、本市の魅力やブランドイメージの向上などにより、特に子育て世代を中心に選ばれるまちとして発展させ、若者世代と高齢者世代、あらゆる世代が相互に支え合っていく活気あふれるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

一方で、観光や交流人口増加による経済効果につきましては、観光客をはじめ、本市を訪れる方の増加に伴う飲食店等での売上げの向上やイベント関連の需要増加に伴う市内での雇用機会の増加などが考えられますが、本市におきましては残念ながら現状そのような経済波及効果を持つ地域資源に乏しく、交流人口による市内消費額等の見通しがない状況で

ございます。

観光等による交流人口の消費を地域産業に還元するためには、集客力の高い観光資源の創出や催事の開催、または誘致、万博等の大規模イベントとの連携などが必要であると考えられますので、本市が有する資源の魅力向上を図りながら、情報を収集し、積極的な機会の活用を図ってまいりたいと考えております。

○小西高吉 約8,000人が2025年に減少するというのも、市長の考え、公約からすると矛盾してるのも正直分かってるんですけど、社人研が出しておられるんで、これを基に言ってるんですが、ただ将来市税が、市税って財源ですよ、市の財源が減ってからでは正直遅いと。できたらもう今から、25年後の人たちに私たちの努力不足で迷惑をかけるわけにはいけないんで、今のうちにという思いで一般質問させていただいているんですが、その点の分析っていうのはどのように考えておられるのか、お教えいただけますか。

○財務局長 失礼します。確かに、以前3月議会のときに20年後の税収予想についてお尋ねいただいて、私は予想は難しゅうございますと答弁申し上げたかと思うんですけど、ですのて25年後の市税につきましても同様に、具体的な予測を立てるのは困難と考えております。

ただ、将来的な市税の獲得のためには、香芝市の将来を見据えた上で、生産年齢人口の減少を少しでも抑制できるよう、住環境や教育、あとまた先ほどからいただいております観光など、そちらを含めまして市全体で魅力あるまちづくりのために努力することが重要であるとは考えております。

以上です。

○小西高吉 そうですね。前回も聞かせていただいて、そんな先のことは分かん、正直それは分からないですよ、誰にも。分かんないですけど、今から何か努力していかないと、本当に先の方に迷惑をかけるわけにはいけないんで。

それで、前回も言ったんですけど、香芝市が観光関係にかける予算、予算書、決算書にも乗ってくるんですけど、どの程度効果を上げているのか本当に分かりにくいということからいくと、現状の観光施策を転換しないといけないんじゃないかと考えるんですけど、市長のお考えはいかがですか。

○市長 観光政策の転換に対する考えはどうかというご質問でございます。

確かに、観光資源の乏しいと言われる地域ではございますが、様々な施設の整備を今後急いでまいりたいということは、先ほど企画部長が答弁したとおりでございます。そういった観点で申し上げますと、それらの施設につきまして、観光の用途としても利用していただけるような工夫をしながら、スポーツ公園や総合公園、またホール等をはじめとした複合施設の整備を急ぐとともに、中・長期的にはダイヤモンドトレイルの起点のまちとして観光振興も目指していきたいというふうに考えてございます。

市内では、実際に外国人がよく立ち寄られる飲食店もあると聞いておりますので、その流れも観光地へと誘導できるような仕組みづくりを検討していく必要があるものと考えてございます。場当たりの一過性の行事等を実施していくのではなくて、中・長期的な戦略を

持った観光政策を展開していく必要があると考えております。

以上でございます。

○小西高吉　そうですね。前回、前々回かな、以前も言ってるんですけど、どんづる峯って正直香芝市の観光地、二上山においては葛城市、大阪太子町ですかね、何か全部にかかってるんで、どこやっていうのがちょっと言いにくいんですけど、どんづる峯に関しては香芝市と言えるところで、あそこを、全体を考えた中で総合公園の整備が不可欠じゃないかなと思うんです。前回言ってるんで、あえて今言ってるんですけど、と思うんで、ぜひその点も考えて、早く進めていただけたらなというように言っときます。

次に、スポーツ分野での地域活性化、これも以前からずっと言ってるんですけど、スポーツ分野で地域活性化をするのに、地理的に見ても、条件面を分析しても、いろいろ考えると、大阪市内には人工芝のグラウンドはほぼない状態です。大阪市内から香芝市までのアクセスを考えると、大阪市民をターゲットにできると考えるんですが、大阪府内の人工芝グラウンドの予約率も土日祝日及び長期休みに関してはほぼ100%になっています。奈良県内の人工芝グラウンドもほぼ100%の利用率。その点、私は人工芝に、以前から言ってるんですけど、人工芝にするべきだというように言ってる、あくまで人工芝ですよ、天然芝じゃないですよ、人工芝にして地域活性化の起爆剤に、そういったことを考えられないでしょうか。市長、いかがですか。

○市長　議員からかねてからご提案いただいている施策かと存じます。

ただ、現時点で申し上げますと、人工芝生化につきまして、既存の施設でこれを行うということにつきましては、様々な課題があると所管部から聞いてございます。グラウンドのコンディションの安定性や安全性及びメンテナンスが容易などの利点がある一方で、その耐用年数が10年程度と限られていること、また施工費用が高額であること、他種目の利用が難しいなどの課題があることから、現時点では予定はしていないというところでございます。

以上でございます。

○小西高吉　前回もいろいろ調べさせていただいて、移動式のマウンドがあるとか、健民グラウンドでいいますと、あそこは野球ができないグラウンドに今現在なっていると。ソフトボールはできると。唯一できるとしても小学生の野球までだというように聞かせていただいています。多分ほとんどもう今野球やってないですよ、健民グラウンドでは。そういうソフトボール、サッカーとかグラウンドゴルフとか、そういう系になるんですかね。そこら辺になってくるのかなと思うんですけど、それをしていただきたいということでお願いもしてきて、北部体育館の整備を優先しなければならないということで、それも終わったということで、いよいよなのかなとは思ってたんですけど、なかなか残念な答弁をいただいたんです。

ただ、現在あるグラウンドを人工芝に変えたときの費用がどれぐらいかかるのか、そういうことはもちろん研究もさせていただいて、以前も軽く聞いていただいたような気がするんですけど、いろんな市町村の人工芝の予算を調べさせていただくと、1億円から1億5,000

万円ぐらい。もちろん単費だけでなく、国からの補助やt o t oの補助を活用してる自治体が、ほとんどそういう自治体が多いんですけども、単費だけで見ると6,000万円からという感じになるのかなと思うんですが、その点、試算をしておられるのであれば、お教えいただけますか。

○まなび推進局長 工事費用につきましては、令和4年10月時点で、健民グラウンドを想定しまして施工業者より参考見積りを取りましたところ、当時の価格で3億3,000万円でした。体育施設の整備につきましては、日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじの助成金がございますけども、芝生化事業の上限が4,800万円であることから、市の単独費用としましては2億8,200万円が必要になってくるということでございます。

なお、一般的な耐用年数は10年程度とされておりまして、また維持管理経費等も足しますと、年間3,000万円超の負担となるわけでございますけども、令和5年度の健民グラウンドの利用料収入が45万円でした。利用が促進され、稼働率が改善した場合でも課題は大きいのかなというところでございます。

○小西高吉 3億円と。それが実際今どうなのかというのも分かんない、逆に言うたら今高いのかも分かんないですね。ということも考えるんですけど、ただ人工芝にすることによって、利用者が大体ほかのところを見ると年間8万人、この8万人に対して1人1,000円使っていただくだけで年間8,000万円ですね、簡単に言うと。ただ、全てが、市内で使っていたかないと意味がないんですけど、そういうことを考えると、経済効果としてはあると思うんですね。

10年とおっしゃってた、これは8,000万円掛ける10年で8億円ですか。っていう、簡単に言えばね。せやから、かかるだけでなく、利益もあるというように思っておりますんで、しっかりその点も考えていただいていると思いますけど、ぜひ現実にしていただきたいなというように、待っておられる方が多いんで、お願いしたいとあえて言うときます。

ただ、今の現状ではできないと、やる気はないと。やりたいけどできないと、いいように言うと、そのように取っておきます。

次に、公民連携の組織づくりについて、これも以前から聞かせていただいて、提案もさせていただいてるんですけども、いかがですか。公民連携による組織づくりについてのお考え、お教えいただけますか。

○産業振興局長 香芝市では、現在公民連携の取組として実施いたしておりますのは、企業等との包括連携協定の締結と事業の推進、また指定管理制度の実施、広告掲載の事業等があります。また、民間提案制度の推進といたしまして、団体が提案し、活動をサポートするといった仕組みづくりとして、まちづくり提案活動団体支援事業を行っております。

メニューといたしましては、市民提案型のものだけではなく、スタートアップ事業や行政提案型もございますので、これからスタートする団体の活動を後押しするだけではなくて、団体との協働によって行われる事業への後押しにもなっているところでございます。

以上です。

○小西高吉 前回とあまり変わらないですよ。変わらないですよ、はい。いろんなことを検討いただきたいというのと、検討しますと言うても、なかなか検討いただいてないのかなというところも、正直思うところもあるんですけど、ぜひ前向きに考えていただきたいと思います。

ちょっと時間があれなんで、なくなってきたんで。そうですね。市長にだけ少し聞いておきましょうかね。

市民や民間に頼ることも必要だと考えて、今までそういう質問をさせていただいてるんですけど、市長はいかがですか、そういう考えていうのはお持ちなんでしょうか。

○市長 市民や民間に頼るというところでございますが、議員からはまちづくり協議会のようなものの設置についてのお話があったということも伺ってございます。

現状におきまして、市民の皆様方からご意見をお聞きする体制といたしましては、現在香芝市においては全市域的に自治会をはじめ、各種活動団体が組織されておりまして、多様な活動が行われているものと承知をしてございます。行政の様々な取組に対してご意見を伺うこともございます。こういった体制の下で、行政課題に対しても連携をしていくことができるものと考えてございます。

なかなかまだ就任してから半年程度というところで、目の前の仕事に追われ続けてきたわけでございますが、こういった中・長期的な視野に立って、市民の皆様にとどのように頼っていくのかということについても、今後しっかりと考えてまいりたいというふうに思っております。

○小西高吉 ありがとうございます。ぜひ考えていただきたいと強くお願いしておきます。

私が何でこれまで観光、交流人口、関係人口等増を提案させていただいているかということ、経済効果で、それイコール市の税収増につながるというように強く思っておりますんで、財源を確保しないと、いろんなこと、人工芝一つに取ってもお金がかかることなんでね。それを実現するためにも何とか税、市税、自主財源が上がることも提案させていただいておりますんで、その点、またご理解いただきたいというように思います。

「有害鳥獣による被害・対策について」

○小西高吉 次に、3番目として、有害鳥獣による被害・対策についてということで、市内での被害の状況、イノシシやカラス等による市民からの苦情、被害の状況をお教えいただけますか。

○産業振興局長 市民から寄せられているイノシシやカラスなどの苦情といたしましては、共通して農作物が食い荒らされるという食害が多数でございます。また、イノシシにおきましては、食害のみならず、田畑を掘り起こす等の苦情も寄せられています。

市のほうで把握しておりますイノシシやカラス等の農作物の被害状況でございますが、令和5年度の実績といたしましては、面積で約0.4ヘクタール、金額にして約340万円発生し

てございます。被害内容につきましては、イノシシの食害が水稻、芋類、カラスの食害が野菜や果物類、その他、アライグマの食害が野菜、果物類で発生しておりまして、共に**収穫直前の被害が多発しているのが現状**でございます。

○**小西高吉** 相当被害が出てますよね。いろいろ苦情もいただく、要望もたくさんいただくのが特にイノシシですかね。イノシシによる、掘り起こして、ミミズ等も探してるんでしょうかね。柵をしてても、その周りの土手とかもガタガタになってるというのも実際見させていただいてるんですけど、そういう**被害に対しての対応、対策としては、市としてはどのようにされているんでしょうか。**

○**産業振興局長** まず、市民からの被害に対しての対応といたしましては、野生生物を田畑に寄せつけないように、農作物の未収穫物や落下実などを農地に放置せずに処分をする、田畑に侵入させないよう侵入防止柵を設置するなど、まずはご自身による被害防止の実施を依頼をお願いしております。

市としては、対策させていただいてるのは、**農地所有者が行う侵入防止柵等の対策**に對しまして、**原材料の支給**を行っております。また、農事実行組合からの有害鳥獣捕獲依頼に基づきまして、猟友会様にイノシシ捕獲わなを設置していただき、捕獲を実施しております。

次に、カラスにつきましては、追い払い用の音や光が出る装置の貸出しや威嚇剤の配布を実施しております。

最後に、アライグマにつきましては、市民の方に捕獲おりを貸出しするとともに、捕獲できた際には市が回収をいたしまして処分を実施しております。

○**小西高吉** いろいろ対応というか、対策というか、いろんな材料支給をして柵をつくっていただくとか、いろいろね。実際、農園というか、されている方とかも、借りて農園されている方ですよ、ふれあい農園って言うんですかね、そういうのもされてる方も大分苦慮されて、自分で竹切って柵をつくったり、いろいろされてます。

ただ、なかなかお金もかかってくるんで、そこまでしてっていうところも皆さん持っておられるのと、ちょっと年配の方も多くて、なかなかしんどいという声も聞かせていただいているんですけど、どうか何か方法ないんでしょうかね、このイノシシ。何か大きく柵をしていただくとか、何かそんなんはあるんですかね。それは、自治会か何か、組合、広域的な場合はしていただけたらとか、何かそんな話聞いているんですけど、間違ってますか。

○**産業振興局長** 現状におきましては、発生する場所っていうのをある程度特定させていただきまして、そこに捕獲できるおりを置いているということで、周りを囲うようなおりというのは今のところ設定はしておりません。

○**小西高吉** おりじゃなくて柵なんですけどね、僕が言ってるのは、柵で囲うっていうような。それは、国の施策のですかね、県の政策なんですかね、ちょっと見たときに。今その資料がないんで確定できないんですけど。

ただ、これイノシシだけでいきますと、最近、イノシシに襲われてけがをされたっていうのが度々ニュースでも流れてるんですけど、香芝市でもいつ起こってもおかしくない状況

だと思うんです。

それで、心配されてるのがスポーツ公園で山を開拓っていうか、開発していったって、どんどんイノシシの住む場所っていうか、餌場もなくなっているんで、住宅街へ出てくる、今も住宅に近いとこまで出てきているんですけど、住宅街を走るとか、よくいろんなとこで報道されてるような、そんな状況になり得るやろうということもあるんですけど、そんな点とかちょっと危惧してるんですけどね。ないとは言いきれないですよ。そんな大丈夫ですよって僕も言えないということもありますんで、市として今後の課題とか、その点はどのように考えておられますか。

○産業振興局長 今後の課題といたしましては、議員もおっしゃるように、開発に伴う生育域の拡大、また狩猟の方の減少や高齢化に伴う捕獲圧の低下や被害農地の耕作放棄地、これを防止することが最大の課題だと考えております。

そういったところを対策するためには、計画的、また効率的な被害防止対策の実施を行うとともに、人材確保や、また育成に努めていきたいと考えております。

○小西高吉 何かあってからでは遅いんで、今の時代何が起こるか分かんないっていうのは正直なところだと思うんです。ですから、しっかり市としてもいろいろ検討もいただきたいと。

今後は、こういうイノシシ、ありがたいのが熊は出ないですよ。そこは安心していいんですよ、香芝市って。分かんない、どうなんですかね。

○市民環境部長 奈良県内において熊が発見されたという事例は、私が知る範囲ではありません。

○小西高吉 ないってことです。部長がないと言ったということで大丈夫ですね。

いやいやいや。大丈夫やって僕は思ってるんですけど。はっきりしたことが言えんねんやったらお願いしたいんですけど、どうですか。

○市民環境部長 すみません。去年、大台ヶ原で発見された事例があるようでございます。申し訳ございません。

○小西高吉 ですよ。ありましたよね。

そこからいくと、可能性があるということをおっしゃってるんですか。どう捉えたらいいんですか。それがないとは言えないですよ、その熊がこっちまで来るという可能性は。言えるんですか、はい、お願いします。

○産業振興局長 現状におきましては、奈良県内では吉野の山のほうになりますけれども、山並みの中で発生しないとも言いきれないのが現実でございますけれども、現状のところは二上山付近では発見はされていないというのが現実でございます。最近、発見されたのは鹿が何匹か発見されたという事例は聞いております。

○小西高吉 熊は出ないというようにも私も思ってるんですけど、言い切っているのかどうかというのもだんだん不安になってくるような状況になってきているということで、ぜひ今日の前でいきますとイノシシが、猿も出たりはしてますけど、猿も危険なのは危険ですけ

ど、イノシシが今のところ怖いのかなと。何か指をかみちぎったとか、そんなテレビ報道もありますし、子供さんだったら命を奪われる可能性もありますんで、いろんなところで猟友会の皆様にも本当にご活躍いただきたいということで、よそでは住宅街で発砲したために免許を取り上げられたとか、いろいろな問題も、課題もあるようですが、ぜひ市民の安全、そして特に命を守るようにぜひお願いしたいなということで、今回の一般質問を終わらせていただきます。

ぜひ、皆さんよいお年をお迎えいただきますよう、お祈りしております。厳しい質問もさせていただきましたが、ぜひよろしく願いいたします。ありがとうございました。